

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	椋山女学園大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	スギヤマジョウガクエンダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F123310106577
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	愛知県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップⅠ、インターンシップⅡ
	学部・研究科等名	教養教育科目
	担当教職員名・役職	キャリア育成センター長 木村隆
	受講者数実績年度	令和2年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	162
	受入企業等数	227
	受入企業等名	https://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/career/internship/
	インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ
		6.低学年（大学1年次～2年次程度）からのインターンシップ
8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ		
9.中小企業でのインターンシップ		
10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ		
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
		2.企業等における課題の解決（例：ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等）
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
1-3.上記回答内容に関する詳細	インターンシップでの経験による職業観醸成効果を最大化するため、受入先の業態に応じた業務を社員とともに行う。課題解決ワークやオンライン実施インターンシップなど様々な形式のインターンシップを取り入れることで、多様な経験から学べるよう実施している。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している
		6.当該インターンシップは、選択科目として実施している
		8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部2年
大学 学部3年		
大学 学部4年		
2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 1単位	
2-5.上記回答内容に関する詳細	教養教育科目「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」として授業期間中に事前事後指導、休業期間中にインターンシップに参加し、提出物（日報・報告書等）を提出することで1単位を付与する。	
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	

要素③	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容		
3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	事前指導（3回実施）で、以下に関する事前学習を行う。「インターンシップの心構え」、「業界研究・企業研究」、「コミュニケーション」、「自己分析」、「履歴書作成」、「プレゼンテーション」、「グループワーク」、「インターンシップの目標」	
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	インターンシップ後、事後指導（1回実施）で以下に関する事後学修を行う。「振り返りと今後」、「インターンシップの体験を今後どう生かすか」、「キャリアデザイン」、「グループワークによる振り返り」、「グループワークまとめの発表」またインターンシップ報告会により、インターンシップの成果について発表し学びの定着化を行っている。	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	日報の提出を通じて学生の取り組み状況を把握し、必要に応じ面談を実施している。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	事前指導後にアンケートを実施することで目的意識の変化や講義内容についての理解度を確認するほか、学生自身でインターンシップに対しての目標設定を行い、事後指導で学生間での報告を通して達成状況を確認するとともに気づきの定着を図る。また受入先より学生の就業状況を評価票にて報告してもらうことで客観的評価とし、履修生各自の就業観を確立し、大学における学修目的を明確化させ、就業力育成につなげる指導を行っている。
要素	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	5～10日程度の実施。受入先によっては20日程度の実施もある。

⑤	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	5～10日程度の実施。受入先によっては20日程度の実施もある。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
6-3.上記回答内容に関する詳細	事前にインターンシップの意義や目的など実施要綱を受入先となる企業等にご理解いただいた上で、受入先にてプログラムを作成していただき確認したものを学生へ紹介する。また、受入先企業等を本学教職員が訪問や面談したりするなどして学生の職業観醸成に繋がる実施内容の構築を実施している。	
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://gear.sugiyama-u.ac.jp/SyllabusDisp/SyllabusDisp.aspx?nendo=20210&kogikey=A7050002 https://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/career/internship/
問い合わせ先	大学等名	椋山女学園大学
	担当部署名	キャリア支援課
	担当者役職名	職員
	担当者氏名	押元翔馬
	電話番号	052-781-1873
	メールアドレス	internship@sugiyama-u.ac.jp